



公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会 651-0085 神戸市中央区八幡通4-1-38 TEL 078-271-0255 FAX 078-271-0256 E-mail info@hamt.or.jp
 編集委員 住ノ江 功夫 / 中村 光希 / 湊 宏美 / 渡邊 優子 / 矢野 美由紀 / 小松 敏也 / 森川 貴道
 臨床検査情報センター URL <http://www.hamt.or.jp>

CONTENTS	第17回丹但地区学術組織合同研修会を開催して	1
	第17回丹但地区学術組織合同研修会に参加して	2
	令和4年度第31回東播地区研究発表会を開催して	
	タスク・シフト/シェアの取り組みについて 持続皮下グルコース検査編	3
	#研究班(輸血)、会誌「HYOGO JOURNAL」のススメ、行事・求人案内	4
	会員グルメ情報	5

組 織 第17回丹但地区学術組織合同研修会を開催して

濱 靖 会 員 (丹但地区理事)

●開催日時

令和5年2月25日(土) 9:30~12:00

●プログラム

テーマ: 医師からの問い合わせに対応するために

I部	「尿試験紙検査の基礎知識」
	講師 平尾明日香先生(栄研化学株式会社マーケティング推進部)
II部	「梅毒検査 診断・治療」
	講師 曾根瑠太郎先生(シノテスト株式会社大阪支店営業部)

今年度の研修会はCOVID-19感染状況を考慮し、Zoomを用いた完全Webで開催しました。

I部では栄研化学株式会社マーケティング推進部の平尾明日香先生に「尿試験紙検査の基礎知識」と題し、尿定性検査の基礎・精度管理、試験紙を用いたCKDスクリーニングに至るまで試験紙の特性を細かく講演頂きました。

II部ではシノテスト株式会社大阪支店営業部の曾根瑠太郎先生に「梅毒検査 診断・治療」と題し診断ガイドラインの現在に至るまで、また汎用試薬での機器測定が増加している観点から、メーカーからの提案等、私たち現場の目線での講演を頂きました。

参加者より『意外と忘れてることがあるよね〜』『基本的な事ほど繰り返し』などのメッセージを頂き参加人数は32名と少なめでしたが今回の企画が各施設でお役に立てればと思います。

Web開催が主流になった事により研修会への参加者が増え、広範な地域では参加しやすい環境になった一方で、Web開催になったが故に研修会への参加に意欲がなくなった会員もいるように感じます。

出来るだけ多くの会員が参加しやすいよう工夫し、今後もニーズに合った研修会の開催を考えたいと思います。

最後に今回研修会のご案内につき、沢山の不備がありました事お詫びいたしますとともに、今後の企画進行の糧にしていきたいと思ひます。

兵庫県臨床検査技師会

第17回 丹但地区学術組織合同研修会

テーマ: 医師からの問い合わせに対応するために



オリエンテーション 9:30~9:40

I部 9:40~10:30

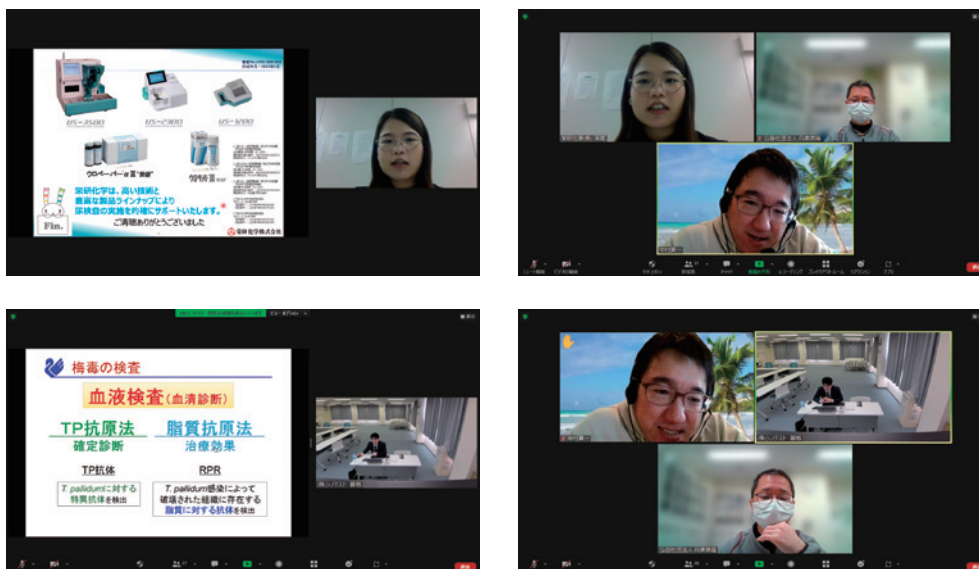
「尿試験紙検査の基礎知識」
講師 平尾 明日香 先生
(栄研化学株式会社 マーケティング推進部)

休憩 10:40~10:50

II部 10:50~11:50

「梅毒検査 診断・治療」
講師 曾根 瑠太郎 先生
(シノテスト株式会社 大阪支店 営業部)





第17回丹但地区学術組織合同研修会に参加して

田村 美歩 会員 (公立八鹿病院検査科)

今回の研修会では「尿試験紙検査の基礎知識」、「梅毒検査診断・治療」についてお話しいただきました。私自身はルーチン業務ではあまり携わることにはできていませんが、日当直業務では検尿はもちろん緊急手術の際には術前の梅毒検査も行っているため、大変勉強になる研修会でした。

尿定性検査は時間外業務でも欠かすことのできない検査の一つであり、頻繁にオーダーされます。検査が簡便かつ迅速である一方で、薬剤や共存物質などさまざまな要因が結果に影響を与える可能性のあることを十分に理解し、正しく使用することが重要であると改めて感じました。また、もはや国民病ともいえるCKDと尿検査の活用を考える良い機会となりました。

梅毒については検査・診断・治療ということで、普段私たちが関わる「検査」だけでなく、新たなガイドラインによる「診断」そして「治療」にわたるまで、歴史を交えながらお話しいただき大変興味深い内容でした。近頃急増している梅毒、検査件数も増加することが予想されます。今回学んだことを業務に活かし、検査で診療に貢献していきたいと思いました。

令和4年度第31回東播地区研究発表会を開催して

森 雅彦 会員 (東播地区理事)

組織部東播地区担当理事の森です。東播地区では、年1回の研究発表会を開催しており、今年も3月11日に研究発表会を開催し31回目を迎えました。一昨年はコロナ禍による中止、昨年はWeb開催としました。慣れない環境の中でWebを活用したセミナーや学会が多数開催されるようになり、徐々に会員の皆さんもWebでの参加が当たり前の状況となりましたが、私は対面を基本とした現地開催が本来ではないかと思います。理由は平面的なステージより立体的なステージであることが、雰囲気(熱気やリアクション)がより伝わりやすいと思うからです。こういったことから現地開催を目指し準備して参りましたが、第8波の行方が不透明な時期でもあり、最終的にハイブリッド開催へ移行しました。

東播地区研究発表会は、若手技師の学術活動の登竜門として位置づけて毎年開催しておりま



す。今年も5人の若手技師が演題を登録してくれました。

生理機能検査、血液検査、細菌検査、病理検査と幅広く分野が分かれたことも良かったかなと思います。演者の方々はさぞ緊張があったことでしょうか、質疑も含め立派に対応されていましたね。良い経験となったことでしょう。これをバネに是非とも県学会や近畿支部学会、全国学会へステップアップしていきましょう。

末筆にはなりますが、各施設の指導者や責任者の方々におかれましては、当研究発表会への運営に対し、ご指導やご協力いただき誠にありがとうございました。

今年度は是非とも現地開催のみで行いたいと思いますので宜しくお願い致します。

タスク・シフト/シェア～一歩先の業務へ～ 持続皮下グルコース検査 タスク・シフト/シェアの取り組みについて

西澤 真菜 会員 (加古川中央市民病院 臨床検査室)

持続自己血糖測定器のデータ管理をタスク・シフト/シェアの一つとして始めて、約2か月が経過しました。検査室管理されている施設も多いと聞きますが、当院では今まで医師と看護師が行っていました。

はじめは、毎週金曜日に行っている糖尿病教育入院のカンファレンスで、医師から「データ抽出と報告書作成をやって欲しい」と言われたことでした。対象患者は外来患者およそ140人、当院では測定器を3機種採用しており、データをリンクさせている人、リンクしていない人、診察当日に検査室へ来室予定がある人ない人と状況は様々でしたが、目標とテーマを明確にして始動しました。

<目 標> 持続自己血糖測定器のデータをレポート化して診察までに電子カルテに登録する

<テーマ> ・技師の増員無く、現在の業務の流れに組み込む

・診療部と患者が間違わないルール作り

当院では該当する患者には当日採血の依頼があることが多いため、採血室の続きにある検体検査室の担当者が取り込み業務を行うことが効率だと判断して、電子カルテの検体検査項目にレポート作成の項目を作成しました(図①)。今回の取り組みについて、患者への説明は診療部で行い、医師が電子カルテから依頼して、採血後のタイミングでレポート作成を実施しています。採血後に、データがリンクしている人は次の検査や診察へ回るように案内し、対面でデータの受け取りが必要な人は待機していただくよう案内するために採血者がわかりやすいようにオーダーラベルを変更しました(図②)。患者さんと対面したときには直接ご意見を伺い、診療部と共有し、「ちょっと良くなった」を目指して取り組んでいます。

今後も検査室から1歩出て、いいコミュニケーションをとり「検査室アピール」につながる仕事を見つけていきたいと思っています。

電子カルテ依頼画面(図①)

生化学			
総蛋白	Na	総鉄結合能	
アルブミン	K	不飽和鉄結合能	
	Cl	血清鉄	HbA
	Ca	亜鉛	
	補正Ca		グリ
	IP	T-CHO	採血後
AST	Mg	中性脂肪	検出
ALT	浸透圧(血液)	HDL-C	
LD		LDL-C	血液
ALP		LDL-C(Friedewald式)	血液
	尿酸	non HDL-C	ヘビ
CK-MB			ヘビ
CHE		総ビリルビン	

ラベルレイアウト(図②)

研究班

貴重な献血が有効に利用されるために、適切に医療機関に供給される体制と、廃棄血の減少が求められる中で、令和5年は、兵庫県下の輸血用血液製剤を使用している施設にとって変化の大きな年になりそうです。

日本赤十字社では、近畿管内での献血血液における検査及び製造業務を近畿ブロック血液センターに集約し運用を行っていますが、兵庫県では兵庫製造所で製造業務が続けられてきました。令和5年を迎え、兵庫県においても新鮮凍結血漿及び大部分の血小板製剤の製造業務が近畿ブロック血液センターに集約され、現在は近畿ブロック血液センターから兵庫県赤十字血液センターに分配されたのち、各医療機関に供給されることとなりました。

変化①新鮮凍結血漿の納品時における残り有効期間が、2月以降供給分から「基本、有効期間まで1か月以上の製剤を供給」と従来の3か月から短くなりました。変化②血小板製剤が4月1日供給分から、近畿ブロック血液センターより分配後に医療機関へ納品となり、供給体制に変化がないか注目されています。

一方で朗報もあります。変化③（照射）赤血球液-LR「日赤」の有効期間が3月13日採血分より、採血後21日から28日間に延長され、納品時における残り有効期間が17日以上と7日も延びました。これにより、廃棄血の減少が期待されます。

加藤 正輝 会員（輸血検査研究班）

+ 赤十字供給情報

2023年3月

（照射）赤血球液-LR「日赤」の有効期間が延長されました

●対象製剤

赤血球液-LR「日赤」(RBC-LR)

照射赤血球液-LR「日赤」(Ir-RBC-LR)

●切り替え日

2023年3月13日（月）採血分（同年3月15日供給開始）

●変更後の有効期間

採血後21日間 → 採血後**28日間**

●お届けする製剤の有効期間

残り有効期間**17日以上**の製剤をお届けします。

※在庫状況により期限確認させていただく場合がございます。

●有効期間の混在

3月15日から4月1日まで有効期間延長前後の製剤が混在します。

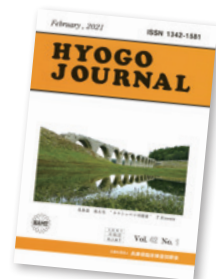
兵庫県赤十字血液センター	学術情報・供給課	TEL 078 (222) 5100
兵庫県赤十字血液センター	販路事業所	TEL 079 (294) 5149
兵庫県赤十字血液センター	豊岡出張所	TEL 0796 (24) 0268
兵庫県赤十字血液センター	淡路供給出張所	TEL 0799 (53) 6322

会誌「HYOGO JOURNAL」論文投稿のススメ——1

兵庫県臨床検査技師会では、会誌「HYOGO JOURNAL」の論文掲載を行っています。こちらで掲載された論文は、Medical Onlineから多くの方にも閲覧されます。是非とも、若手からベテランの方と幅広くご活用ください。

論文掲載に至るまでには、査読委員による査読・修正等の時間がかかるため、受験資格等で必要な場合はできるだけ余裕を持って投稿をお願いいたします。

*投稿規定：技師会HP▶兵臨技のご案内▶会誌「HYOGO JOURNAL」投稿規定



行事予定案内および求人情報は、ホームページに掲載しております。

右のQRコードから最新情報をご確認下さい。

行事予定表



求人情報





今回ご紹介するお店は、北播磨地域にある「戎屋菓子店」です。

日本の原風景が残るこの地域は、私のふるさとでもある兵庫県の多可郡多可町にあり、創業1895（明治28）年の老舗で、「ひょうごいいね！お店表彰」では3部門で知事賞を受賞されています。

外観は昔ながらの蔵を彷彿させる和の店構えで、店内もモダンな雰囲気が漂い落ち着きます。新型コロナが蔓延し始めた3年前から「新たな名物に」とイラストケーキにも取り組まれ、一時は数か月待ちの人気ぶりです。今ではケーキやチョコレート、マカロンなどの洋菓子もそろっています。

私のおすすめは、味わいと風味が他とは一線を画す「酒漫 山田錦」です。ほんのりと日本酒の香りがする薄皮の饅頭で、餡はきめ細やかなこしあんがたっぷり、甘さは控えめでとても滑らかな口当たりです。添加物を使用していないので、賞味期限は3日間です。「和菓子のオリンピック」とも呼ばれている全国菓子大博覧会で最高賞の名誉総裁賞を受賞している逸品です。

定番好きで饅頭のみを購入していた私ですが、この機会を得て店に幾度と足を運び、ショーケースに並ぶ彩り豊かで果物がたっぷりのったケーキ、お洒落なマカロンやこだわりのチョコレートに心奪われました。

近くにはゴルフ場やキャンプ場、そして長い滑り台が名物の余暇村公園がありますので、子供たちと目一杯遊んだあとに自分へのご褒美どうぞ。

《店舗情報》

店 名／戎屋菓子店

住 所／〒679-1113 兵庫県多可郡多可町中区中村町104

T E L／0795-32-0261

営業時間／8:00～19:00

定 休 日／水曜日（祝日は除く）



杉本 幸太郎 会員
(姫路聖マリア病院)



酒漫山田錦と名誉総裁賞



彩り豊かなケーキ



お洒落なマカロン

Canon



i が描く新たな地平。

Aplio i-series
Prism Edition

【一般的名称】汎用超音波画像診断装置 【販売名】超音波診断装置 Aplio i900 TUS-AI900 【認証番号】228ABBZX00020000
 【一般的名称】汎用超音波画像診断装置 【販売名】超音波診断装置 Aplio i800 TUS-AI800 【認証番号】228ABBZX00021000
 【一般的名称】汎用超音波画像診断装置 【販売名】超音波診断装置 Aplio i700 TUS-AI700 【認証番号】228ABBZX00022000


J000160-01

キヤノンメディカルシステムズ株式会社 <https://jp.medical.canon>

Made For life



診断技術で、
安心な毎日を。

 **株式会社 タウンズ**

〒410-2325 静岡県伊豆の国市神島761番1
www.tauns.co.jp